



くノ一初  
小松姫像

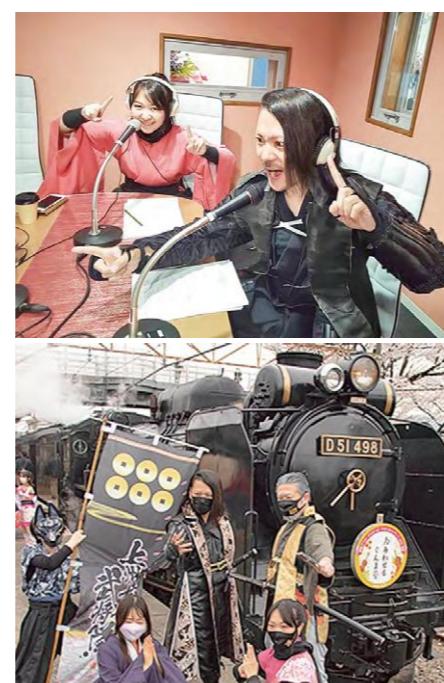
現在、武将隊は12人。  
それが趣向を生かした舞の技巧を、日々磨いておる。併せて、皆の者との交流を大事にしており、我々を身近に感じてもらうことも観光PRの使命と思つておる。

**景義** 私は忍びの者ですが、現世では舞踊を学び、華やかに皆を楽しめる舞を修行しています。

**景義** 現在、武将隊は12人。それが趣向を生かした舞の技巧を、日々磨いておる。併せて、皆の者との交流を大事にしており、我々を身近に感じてもらうことも観光PRの使命と思つておる。

**初** 景義さまが司会で私たちに話を振るのですが、打ち合せが多いことが多いのでびっくりするのですよ。

**景義** 皆の話術を上達させる修行のうちじや。例えば「今日は沼田公園の桜まつりだから、御殿桜にゆかりのある内



写真上) FMラジオ「上州真田武SHOWたいむ」での和やかな様子 下) JR沼田駅にて、SL到着のお出迎えに出陣

たおかけで、自分の個性を生かしながら、自然な形でお客さんたちと交流できるようになります。

**初** 話術の修行を重ねてきたおかげで、自分の個性を生かしながら、自然な形でお客さんたちと交流できるようになります。

**景義** 我々の拠点の沼田公園から大正ロマンエリアの街中まで、皆を案内しあもてなしを拡大していきたい。園内の武将隊グッズを扱う「松之屋」にも気軽に立ち寄つてもいい、公園からくも素晴らしいことなり。



ご当地キャラで魅力発信



イラストレーター  
sinobuさん

柔らかいタッチに癒やされる人も多く、これまで描いた歴史上の人物は約20。真田氏などのご当地キャラクターや沼田城を描くsinobuさんは、本市を拠点に活動しているイラストレーターです。

子どものときから絵を描くことが好きで、『まんが沼田の歴史』に登場する小松姫に夢中になったことから、地元の歴史人物をキャラクター化したといいます。2012年からは沼田の歴史や観光の魅力を伝える「信之・小松姫プロジェクト」を始動。イベントや沼田公園の様子などをSNSでつぶやく小松姫のキャラクターは、親しみやすいと人気です。

最近では、地元企業や寺社とコラボレーションする機会も増えてきたそ

うで、今後の目標は小松姫をインフルエンサーにすること。「キャラクターを通して、多くの人が沼田に興味をもってもらえば」と笑顔を見せます。

キャラクターは武将印やステッカーなどのグッズになり、沼田公園内にある松之屋で販売しています。



1.月限定で販売される武将印 2.沼田名物みそまんじゅうを持つ小松姫のステッカー 3.真田氏の家紋「六文銭」をあしらったお守りは、手作り体験もできる



**景義** 2016年のNHK大河ドラマ「真田丸」を機に、本市を盛り上げようと、同年3月に結成した戦国おもてなし武将隊である。

**初** 現在は殿さまや姫さまと共に、真田氏の歴史や沼田の観光PRをしておりますよ。

**景義** 当時は沼田氏と真田氏は敵対関係にあつたが、現代のからくりを駆使しながら、活動しております。

**初** 真田信之さまの正室・小松姫さまに仕えたくノ一初で叶わず生涯を閉じたのじや。桃色の忍び装束で活動しております。

くノ一初さんが、活動を紹介し沼田への思いを語ります。

地域を盛り上げ元気にしていい踊りで観衆を魅了する上州真田武将隊。沼田まつりなど市内のイベントに登場し、良い踊りで観衆を魅了する上州真田武将隊。沼田まつりな

ど市内のイベントに登場し、自己紹介と結成について聞かせてください

年楽しみで、印象に残っていますねえ。

**PR内容を教えてください**

主に市の催事で演舞をしたり、手裏剣体験などで観衆と交流したりしておる。先月は真田街道がある長野原町へ参上し、歓迎を受けたぞ。

沼田まつりで子どもたちと一緒に山車を引くことが毎年楽しみで、印象に残っていますねえ。

**PR内容を教えてください**

主に市の催事で演舞をしたり、手裏剣体験などで観衆と交流したりしておる。先月は真田街道がある長野原町へ参上し、歓迎を受けたぞ。

沼田まつりで子どもたちと一緒に山車を引くことが毎年楽しみで、印象に残っていますねえ。



写真上) 沼田まつりで地域の子どもたちと小松姫の山車人形を引く初 下) 扇を使った切れの良い演舞を披露



沼田平八郎景義